

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和7年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(利便増進計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
宗像市地域公共交通活性化協議会	<p>■事業内容</p> <p>(1)現状整理 (2)利用者や市民の意向把握(アンケート)の実施 (3)地域公共交通運行体系の再構築 (4)利便増進計画の策定 (5)地域公共交通活性化協議会の運営</p> <p>■結果概要</p> <p>(1)「地域公共交通計画」のデータ等を活用し、地域公共交通の現状分析を行い、課題を整理した。 (2)公共交通の利用実態、地域・市民・利用者の要望や移行等を把握するためアンケートを実施し、集計分析を行った。 (3)路線や運賃見直し等の視点で再編検討を行った。 (4)利便性の高い旅客運送サービスの持続可能な提供を確保するためのアクションプランを作成した。 (5)円滑に会議が進み、協議が整うように準備・運営を行った。</p>	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p>	<p>地域公共交通計画に基づき、「持続可能な地域公共交通ネットワーク」の構築に向けて、確実な事業の実施及び地域住民の利便性の向上に資する地域公共交通サービスの実現を図る。</p> <p>【主な取り組み内容】 ・通し運賃の設定 ふれあいバス第1系統と第2系統及び第3系統間の通し運賃を設定することで、運賃が割高になることによる乗り継ぎへの抵抗感を減らし、当該系統間地区における公共交通の利便性向上を図る。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 乗り継ぎに対する抵抗感を減らすための具体的な取組を図った点は評価します。 今後は、計画に基づき、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に資する事業を実施し、公共交通の利便性向上及び利用促進が図られることを期待します。</p>	
上峰町地域公共交通活性化協議会	<p>事業内容： 路線バス、コミュニティバス調査、乗り換え状況の把握等を踏まえ、公共交通ネットワークの再編に向けた事業内容、実施主体、実施スケジュール等を整理し、地域公共交通利便増進実施計画を策定する。</p> <p>結果概要： 巡回バスの路線、ダイヤの変更及び停留所の整備をすることで路線バスとの接続が改善され、双方の利用促進を図る。また、巡回バスと乗合タクシーの運賃を統一し、定期券、回数券を共通化することで利便性の向上及び利用促進を図ることができると考える。</p>	A	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された</p>	<p>補助対象事業名： 地域公共交通利便増進事業(利便増進計画策定事業)</p> <p>事業内容： 上峰町地域公共交通利便増進実施計画の策定</p> <p>実施時期： 令和6年4月～令和7年3月</p> <p>調査結果を受けた計画策定の方針： 巡回バスと乗合タクシーの運賃等を統一・共通化し、利用促進を図るとともに、路線バスと巡回バスの接続を改善するために巡回バスの路線、ダイヤの変更及び停留所の整備を行う。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 運賃の統一、路線・ダイヤの変更、停留所の整備といった具体的な取組を図った点は評価します。 今後は、公共交通接続の改善が利用促進につながっているかをフォローアップしながら、更なる公共交通の利用促進・利便性向上が図られることを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考	
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果		
佐賀市地域公共交通協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の地域公共交通を取り巻く現況や将来予測の整理 ・地域公共交通の課題抽出 ・路線バス事業の現況分析 ・持続可能な地域公共交通ネットワークの将来像の検討 ・利便増進事業の具体的な検討 ・佐賀市地域公共交通利便増進実施計画(案)のとりまとめ ・協議会開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存公共交通のデータ整理により、佐賀市地域公共交通計画策定時から変化した公共交通を取り巻く状況、市の現況・将来分析、地域公共交通の課題を整理・把握した。 ・路線バスの乗降データ等を基に、路線バス事業の現況分析を実施した。 ・佐賀市地域公共交通計画で示している基本的な考え方に基づき、利便増進の方針・取り組みを整理し、持続可能な地域公共交通ネットワークの将来像を検討した。 ・利便増進の取組の方針に沿って整理した利便増進事業について、具体的な検討を行った ・佐賀市地域公共交通利便増進実施計画(案)のとりまとめを行った ・協議会開催 第1回(R6.6.4)、第2回(R6.7.18)、第3回(R6.11.27) 第4回(R7.1.9)、第5回(R7.2.3予定) 	A	<p>佐賀市地域公共交通利便増進実施計画の策定にあたり、市内の地域公共交通を取り巻く現況や将来予測の整理、地域公共交通の課題抽出、路線バス事業の現況分析、持続可能な地域公共交通ネットワークの将来像の検討、利便増進事業の具体的な検討、佐賀市地域公共交通利便増進実施計画(案)のとりまとめを実施した。</p> <p>なお、本計画策定に係る調査を行うため、佐賀市地域公共交通利便増進実施計画策定調査業務について、公募型プロポーザルを実施し、株式会社ケー・シー・エス九州支社と契約を締結している。</p> <p>また、佐賀市地域公共交通協議会において、地域公共交通の利便増進に係る将来の方向性、利便増進事業の具体的な検討を行った。計画策定に向けて適切な事務事業を実施している。</p>	<p>【調査結果を受けた計画策定の方針】</p> <p>佐賀市地域公共交通利便増進実施計画策定調査業務で「市中心部における回遊性の向上を支えるモビリティサービスの充実」、「市全域における持続可能な公共交通ネットワークの構築」を大きく2つの方針とし、利便増進の取組の体系を整理した。利便増進事業として位置付けたもの以外にも、「市中心部における回遊性の向上を支えるモビリティサービスの充実」や「市全域における持続可能な公共交通ネットワークの構築」に向けた課題は山積しているため、引き続き、関係者と協議を重ね利便増進の取組を進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市中心部における方針 「回遊性の向上を支えるモビリティサービスの充実」 交通分野において、リーディングエリアに訪れた市民や観光客等の回遊を促す交通サービスの充実を図る。 ・市全域における方針 「持続可能な公共交通ネットワークの構築」 公共交通に対するニーズは量的にも質的にも高まってきている一方で、公共交通サービスの供給側の制限があるなどギャップが生じている。これらを両立させていくために、輸送量や運行ルート・乗降場所などが異なる交通モードそれぞれの特性を生かして、その特性に応じた機能分担とメリハリのある交通ネットワークを構築する。 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>市中心部と市全域における方針と、各方針に基づく取組の体系が明確に整理されたことを評価します。</p> <p>今後は、関係者との協議を進めながら着実に取組を実施いただき、モビリティサービスの充実と持続可能な公共交通ネットワークの構築が図られることを期待します。</p>	
対馬市地域公共交通活性化協議会	<p>○関連情報の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連法令、関連事業、市の現況、地域交通資源等について整理を行った。 <p>○地域交通に関する実態、ニーズ把握調査及び分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケート調査を実施した。 20歳～65歳の市民1,500人に調査票を配布。604人から回答を得た(回収率40.3%)。 ・高校生アンケートを実施した 市内3高校の1、2年生370人に調査票を配布。328人から回答を得た(回収率88.6%)。 ・高齢者アンケートを実施した 65歳以上の市民812人に調査票を配布。610人から回答を得た(75.1%)。 ・上記各種調査結果を分析することにより、地域における公共交通の課題等を明らかにすることができた。 <p>○計画作成に向けた実現可能性の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者等関係機関等への聞き取り調査を実施し、今後の方針について整理を行った。 <p>○地域の公共交通計画(案)のとりまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査内容を反映した、地域公共交通計画(案)を取りまとめた。 <p>○協議会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画策定に向けた調査内容及び調査結果を受けて今後の交通体系のあり方について議論するための協議会を開催した。 	A	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【補助対象事業名】</p> <p>対馬市地域公共交通計画策定調査業務</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連情報の整理 ・地域交通に関する実態、ニーズ把握調査及び分析 ・計画作成に向けた実現可能性の把握 ・地域の公共交通計画(案)のとりまとめ <p>【実施時期】</p> <p>令和6年4月～令和11年3月</p> <p>【計画策定の基本方針】</p> <p>地域の移動手段を維持するため、地域公共交通ネットワークを交通資源を総動員して創り上げる。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今後は、今回の調査で整理された対馬市における公共交通の現状や課題等を踏まえ、地域の理解を得ながら、利便増進実施計画が策定され、地域公共交通の維持に資する取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
佐世保市・佐々町地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】 ・現計画における課題の整理 ・利便増進に係る事業内容の検討 ・利便増進に係る事業の実施区域の検討 ・利便増進に係る事業の自治体支援手法の検討 ・事業実施に必要な資金の額及び調達手法の検討 ・事業効果の予測 ・上位計画及び関係する施策・計画との整合並びに連携の検討 ・佐世保市・佐々町地域公共交通利便増進実施計画(案)のとりまとめ ・協議会・幹事会開催</p> <p>【結果概要】 《調査方法》 ・交通事業者から提出された運行データや収支等の情報を踏まえた現状分析や運転士数の将来予測等を検証するとともに、交通事業者との協議(タスクフォース)を通じて利便増進策にかかる今後の導入施策について検討 ・上記タスクフォースにおいて、需給に応じた路線再編、交通結節点の整備、市が有する交通資産利活用等について検討 ・不便地区対策として、公共ライドシェア制度構築に向けた参考事例調査等を実施し、導入可能性のある施策を検討 ・利便増進実施計画策定にかかる調査・検討の結果に応じ、地域公共交通計画内容の再整理を行った。</p> <p>《上記調査により以下の問題点を抽出》 ①交通ネットワーク適性化の余地 ・対象区域の中心部路線の重複運行による非効率化 ・需給ギャップによる非効率区間の存在 ②公共交通モード間の連携 ・航路と陸上交通との連携、パークアンドライド整備等の充実の必要性 ③運転士不足、収益環境の悪化 ④利用者目線での利便性向上の必要性</p> <p>現状分析等により確認された問題や課題の解決に向け、計画への位置付けが必要と考える対応方針をとりまとめた。</p>	A 佐世保市及び佐々町の佐世保市・佐々町地域公共交通利便増進実施計画を策定するに当たり、エビデンスに基づく施策を検討するために必要な調査及び計画の実施に向けた関係各機関との協議調整を適切に実施することができた。	<p>【補助対象事業名】 佐世保市・佐々町地域公共交通利便増進実施計画策定調査業務</p> <p>【事業内容】 広域的な視点により各公共交通機関の現状を分析し、公共交通ネットワーク維持のための効率的・効果的手法や利便性向上に向けた施策の実現可能性等を検討する判断基準となる調査を行う。</p> <p>【実施期間】 令和7年4月～令和12年3月</p> <p>【計画策定の方針】 (基本的な考え方) 1. 地域との共創を踏まえた持続可能な公共交通ネットワークの構築 2. 需給や交通モードのバランスを踏まえた全体最適</p> <p>《基本方針》 ①持続可能な公共交通ネットワークの形成 ②交通モード連携による移動円滑化 ③持続可能な交通経営環境の実現 ④利用者の利便性向上・利用促進</p>	今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。今後は、今回の調査で整理された問題や課題の解決に向け、地域との共創を踏まえた交通ネットワークの構築や需要に応じた路線再編ど、効果的な取組が着実に実施されることを期待します。また、計画策定後においては、計画に基づく各種事業が適切に実施、見直しが行われることを期待します。協議会のほか幹事会も開催して議論されていることは評価できるため、継続して開催されることを期待します。	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
合志市地域公共交通協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レターバス、乗合タクシーの再編に伴う影響、効果の検討 ・関係機関協議 ・市民協働のあり方に関する検討 ・合志市地域公共交通利便増進計画(案)の取りまとめ ・協議会(作業部会含む)開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民座談会の結果及び交通事業者ヒアリングの結果を整理し、市民ニーズや事業者の課題の整理を行った。 ・協議会、作業部会を開催した。 <p>【作業部会の主な議論内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目に計画策定の目的・課題等を共有。 ・2～7回目にレターバス・乗合タクシーの概要・詳細について検討を行った ・市民との意見交換会を経て、合志市地域公共交通利便増進計画として最終的にとりまとめを行った。 	A	<p>事業が位置付けられたとおり適切に実施された(される見込み)。</p>	<p>【補助対象事業の名称】 合志市地域公共交通利便増進計画策定調査業務</p> <p>【実施時期等】 令和7年3月完了予定</p> <p>【計画策定の方針】 利便性の高い公共交通網が構築されたまちの実現(合志市地域公共交通計画P.77より)</p> <p>【計画目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①利用者ニーズに応じた効率的な公共交通ネットワークの形成 ②まちづくりと連携した交通拠点の強化 ③サービスの充実 ④市民、事業者、行政が一体となって取り組む持続可能な公共交通体系の構築(合志市地域公共交通計画P.77より) 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今回の調査で、市民座談会や交通事業者ヒアリングを通じて市民ニーズや事業者の課題が整理されたことから、それらを踏まえた公共交通の見直しにつながることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、計画に基づき、利便性が高く効率的で持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p> <p>協議会のほか作業部会も開催して議論されていることは評価できるため、継続して開催されることを期待します。</p>	
大分市地域公共交通協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの見直しの検討 ・交通事業者間連携の支援・調査 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道と路線バスにおける事業者間連携の実現を目的に、「大分市地域公共交通利便増進実施計画」の策定について協議を進めてきた。 こうした中、令和6年9月に鉄道事業者とバス事業者との包括連携協定が締結され、10月には一部地域にて鉄道との接続性向上のためのバスのダイヤ調整や相互の情報提供の充実化が実施されるなど、交通事業者の主体的な取組により、当初の事業目的を達成することができた。 令和6年10月ダイヤ改正にて、鉄道との接続性向上に向けたバス時刻の調整を実施した大南団地線における利用状況の分析を行う。 鉄道駅周辺以外の地域における路線バスの効率化に向けて、バス事業者とのヒアリングを踏まえ、複数の系統が運行する地域を対象とした路線バスの再編案について検討を行う。 	A	<p>市、鉄道事業者、バス事業者による3者協議や市と各事業者との個別協議を実施するなど、事業者間連携の主体となる交通事業者の意見を反映する中、事業は適切に実施された。</p>	<p>引き続き、事業者と利便増進計画策定の必要性を検討する中、利用者の利便性の維持や乗務員が不足する路線バスの運行効率化について、調査検討を進める。</p> <p>【運行効率化に向けた取組に関する具体案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線が重複する系統の統合 ・経由の異なる同一方面の系統の整理 ・乗継拠点の検討 ・利用ニーズに即した系統・時刻設定 	<p>今回実施された調査事業は概ね適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今回の調査結果を踏まえ、路線の合理化や利用者のニーズに即した運行計画に関して、利便増進実施計画が策定され、乗務員が不足する路線バスの運行効率化が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考	
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
津久見市地域公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・利便増進の方向性の検討 路線バス・乗合タクシー等の現状を再整理した。 ・路線再編、運賃施策、利用促進策等の検討 路線再編に向けた課題を整理し、利用しやすい効率的な再編について交通事業者と協議した。路線バスの運賃を距離制運賃から市内均一制運賃への変更を検討した。高齢者向けの利用促進説明会を開催し、アンケート調査を行った。 ・津久見市地域公共交通利便増進計画(案)のとりまとめ 利便増進のために実施する事業をとりまとめ、津久見市地域公共交通利便増進計画(案)を作成した。 ・協議会開催 協議会を開催し、関係者の合意形成を諮った。 	A	事業は適切に実施された。	<p>最終的な計画内容(案)は後日となるが、現在検討中の再編の方針、取り組み内容は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの再編 利用が少ない路線の減便や、全路線の運行区間・運行ダイヤの見直しを行い、運行効率化と利便性向上を図る。 ・乗合タクシーの再編 路線バスの中西循環線は、乗合タクシーへ転換する。乗合タクシーの「中央病院～津久見駅線」は増便し、「落の浦～大浜線」及び「畑～津久見駅線」は運行予約枠を拡大することで利便性向上を図る。(需要動向を確認するため実証運行から開始することを検討) ・均一制運賃の導入 路線バスの運賃を市内200円均一とし、乗合タクシーの運賃も200円に揃え、わかりやすい運賃設定とする。 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今後は、今回の調査で整理された津久見市における公共交通の現状を踏まえ、利便性向上を図るダイヤの見直しや路線の再編などが着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	
延岡市地域公共交通活性化協議会	<p>【実施した内容と実施結果】 (1) 市内全路線に関する分析・整理 本市に関係する全路線の運行概要や利用状況等の分析及び整理を行った。 また、路線別に事業内容や方針、事業収入・支出、負担額、平均乗車密度等について路線別の情報を整理した。</p> <p>(2) 利便増進実施計画(案)の作成 市民の生活行動やニーズなど移動特性に合わせた利便増進事業の具体的な実施内容をはじめ、利便増進事業の実施による利用者数や収支、運転士数などの影響・効果について検討を行った。 また、当該検討結果を踏まえ、地域公共交通利便増進実施計画及び計画書概要版を作成した。</p> <p>(3) 地域公共交通計画の改定 利便増進事業の実施期間及び事業の内容を踏まえ、すでに策定している延岡市地域公共交通計画の事業期間や内容等について見直しを行う予定である。</p> <p>(4) 法定協議会の開催 計画策定に向けた調査内容や調査結果を受けて、今後の交通体系のあり方について議論するための協議会等を開催した。</p>	A	いずれの事業についても、交付申請の内容に基づき、適切に実施した。	<p>○令和6年度中に地域公共交通利便増進実施計画を策定予定(令和7年2月にパブリックコメントを実施し、令和7年3月中に計画を策定し国へ提出する。)</p> <p>○また、利便増進事業の実施期間及び事業の内容を踏まえ、すでに策定している延岡市地域公共交通計画の事業期間や内容等について、令和7年2月に見直しを行う予定である。</p> <p>○なお、計画案の基本方針等は下記のとおり。</p> <p>【計画対象区域】 延岡市全域</p> <p>【計画期間】 令和7年度(2025年度)～令和11年度(2029年度) 5年</p> <p>【基本方針】 「地域の暮らしを支える持続可能な公共交通ネットワークの再構築～共創型交通の実践～」</p> <p>【実施事業】 ■北部・南部まちなか循環バスの新設 旧延岡市の北部・南部地域から中心市街地へのアクセス向上を図るため、北部・南部まちなか循環バスを運行する。 ■南部乗合タクシー4路線の延伸 南部まちなか循環バスよりも南の地区も当該バスを利用できるよう、南部乗合タクシー4路線を延伸する。 ■地域間幹線宮野浦線のルート変更 主要な買い物施設や医療機関を新たに経由しながら市街地の大規模小売店への乗入れによりさらなる利便性向上を図るとともに、北部・南部まちなか循環バスへの乗り継ぎも可能とすることで、中心市街地の回遊性を向上させる。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>中心市街地の回遊性向上及び郊外から中心市街へのアクセス改善に資する具体的な路線の見直しが図られている点は高く評価します。</p> <p>今後は、計画に基づき、利便性向上に資する取組を実施しつつ、乗り継ぎに対する心理的ハードルを下げるための取組についても実施されることを期待します。</p>	
鹿児島市公共交通ビジョン協議会	<p>【事業内容】 ・現況バス路線等の整理 ・地域特性の把握 ・利用実態調査の実施 ・調査結果の分析</p> <p>【結果概要】 現況バス路線やバス以外の移動手段、人口分布等の地域特性、公共交通に関するアンケート調査結果(回収数:1,516票)等を踏まえ課題の整理を行うとともに、幹線・支線の分類や交通結節拠点など、地域公共交通網についての検討を行った。</p>	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>【補助対象事業名】 鹿児島市地域公共交通移動実態調査・分析業務</p> <p>【事業内容】 官民が連携して取り組む利便増進実施計画の策定に向けた移動実態等の基礎調査</p> <p>【実施時期】 令和6年7月11日から令和7年3月21日まで</p> <p>【計画策定に向けた方針】 市全域で幹線・支線の分類を行い、限られた運転者数で効率的かつ効果的に幹線のサービス水準を維持するとともに、官民で役割分担しながら支線の維持に取り組む。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今後は、今回の基礎調査で整理された課題を踏まえ、官民で役割分担しながら公共交通網全体の維持するための計画が策定されることを期待します。</p>	